株主通信
vol.47

RYOWA REPORT

空気と水のテクノロジー

第75期 中間期 業績のご報告

2023年4月1日～2023年9月30日

1 ごあいさつ／トップインタビュー
4 施工実績
5 テクノ菱和の技術の紹介
6 テクノ菱和のCSR
7 連結財務情報
9 会社概要／株式の状況

空気と水のテクノロジー
株式会社テクノ菱和
証券コード 1965

株主のみなさまには、平素より格別なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、テクノ菱和グループは、このたび第75期（2023年4月1日から2024年3月31日）の中間決算が終了いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

株式会社テクノ菱和
代表取締役社長執行役員　黒田英彦
Hidehiko Kuroda

経営理念

**「空気と水のテクノロジー」を通じて
環境にやさしい生活空間の創造を目指す。**

**環境エンジニアリングを中核事業とし、
ひろくお客様から「信頼」される企業を目指す。**

**人材の育成・教育を重視し
働き甲斐のある企業を築き、社会に貢献する。**

行動規範三訓

逞しい心身の鍛錬

意志疎通の徹底

技術力の研鑽

Q 上半期の建設業界を取り巻く経営環境はいかがでしたか？

A 当中間期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限の解除により、経済活動の正常化が進んだことで、内需を中心に景気は緩やかながら回復基調となりました。一方で、不安定な国際情勢のなか、原材料・エネルギー価格の高騰が続いており、依然として景気の先行きは不透明な状況となっています。

建設業界におきましては、公共投資で、特に改装・改修の投資分野で前年度を上回る水準となり、民間投資も、企業による設備投資が堅調に推移する見通しではありますが、建設コストの高止まりや金利上昇による投資減速の懸念は拭えず、依然として予断を許さない状況が続いております。

Q 上半期の業績はいかがでしたか？

A 当社グループの上半期連結業績は受注高50,617百万円、売上高31,671百万円、営業利益1,423百万円、経常利益1,869百万円、中間純利益1,236百万円となりました。

当中間期の受注高は、企業の好調な設備投資意欲を背景に、複数の大型工事を受注したことに加え、一般ビル設備工事でも官公庁の大型新築工事を受注したことなどから前年同期を大幅に上回り、売上高についても前年度から繰り越した工事が順調に進捗したことから、前年同期を上回る結果となりました。利益につきましても、売上高の増加に伴い増益となりました。

中間期の業績	前中間期（百万円）	当中間期（百万円）
受注高	44,993	50,617
売上高	26,310	31,671
営業利益	904	1,423
経常利益	1,208	1,869
中間純利益	787	1,236

（注）本報告書において、中間（当期）純利益は「親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益」を指します。

Q 上半期の取組みについて教えてください。

A 当社は、本年5月に「テクノ菱和グループ人権方針」を策定いたしました。企業による人権対応への要請が強まるなかで、テクノ菱和グループ全体で「ビジネスと人権に関する指導原則」に則り、人権に関する国際行動規範を支持・尊重するだけでなく、事業に関係する取引先にも働きかけを行い、サプライチェーン全体での人権尊重への取組みを推進してまいります。

また、2021年から進めるDX推進プロジェクトにつきまして、取り組むべき課題の整理が完了し、本年よりシステム実装などの取組みをスタートさせております。具体的には、完成図書データベースや技術文書システムなどの既存文書管理システムを一元化することや事務書類のペーパレス化、社内ポータルサイトの刷新などを予定しており、システム構築完了後に順次運用を開始いたします。さらに、こうした社内システムの改善に加え、これまでの企業活動を通して蓄積されてきたデータを有効活用し、生産性の向上を図ることで、建設業界にとって喫緊の課題である働き方改革への取組みを推進してまいります。

Q 下半期の見通しを教えてください。

A 下半期につきましては、経済活動の正常化による緩やかな景気回復が続くものと思われますが、長期化するウクライナ情勢や停滞する世界経済の影響など景気の下振れ要因も多く、引き続き予断を許さない状況が続くものと思われます。

建設業界におきましては、資材価格や労務費の高騰が続くことが予想されるものの、堅調な企業収益を背景に、積極的な投資姿勢が維持され、堅調に推移することが見込まれます。

当期の連結業績見通しにつきましては、受注高74,000百万円、売上高71,500百万円、営業利益3,600百万円、経常利益4,150百万円、当期純利益2,780百万円を見込んでおります。

当期の見通し	前期末実績（百万円）	当期末予想（百万円）
受注高	73,559	74,000
売上高	61,030	71,500
営業利益	3,175	3,600
経常利益	3,557	4,150
当期純利益	2,339	2,780

Q 株主のみなさまへのメッセージをお願いします。

A 本年は、現在進行中の「中長期経営ビジョン2023」と「中期3か年事業計画」が最終年度を迎えます。目標としておりました数値につきましては、前年度より受注、手持工事高ともに順調に推移していることから、達成できる見通しであります。

こうした状況を踏まえ、来期をスタートとする新たな中長期経営ビジョンと中期3か年事業計画の策定を進めております。策定にあたっては、売上高や経常利益などの財務指標だけではなく、ESGへ取組みを念頭に非財務指標での目標を掲げることも視野に入れ、詳細な検討を進めてまいります。

また、東京証券取引所から要請されている資本コストや株価を意識した経営につきましても、資本コストや市場からの評価に関する現状分析と改善に向けた対応策の検討を進め、持続的な成長と企業価値向上を図ってまいります。

当期の中間配当金につきましては、1株につき16円をお支払いすることとし、年間では期末配当金24円を加えた1株につき40円とさせていただく予定にしております。

当社グループのより一層の発展に向けて、全力で取り組んでいく所存でございますので、株主のみなさまにおかれましては、今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。

第一三共プロファーマ株式会社 平塚工場第二無菌製剤棟

概要	
施工地	神奈川県平塚市
建物用途	工場
延床面積	14,737.00㎡
階数	地上4階
工事範囲	空調・衛生・ユーティリティ設備工事

本物件は、第一三共グループにおいて国内最大の製剤工場である平塚工場敷地内に新設された無菌製剤棟であります。平塚工場の敷地内では固形製剤（高血圧治療剤、解熱鎮痛剤、抗凝固剤、抗インフルエンザ薬）や注射剤（麻酔剤、がんおよびがん疼痛治療薬、抗菌剤）など多くの医薬品が製造されており、高品質な医薬品の安定供給が確保されております。

東京応化工業株式会社 郡山工場

概要	
完成年月	2023年6月
施工地	福島県郡山市
建物用途	倉庫等、計7棟
延床面積	2,830.00㎡
階数	地上1階
工事範囲	空調換気・給排水衛生・消火設備工事

本物件は、同社の主力生産拠点のひとつである郡山工場の敷地内に建設された倉庫棟であります。郡山工場では半導体の製造に必要不可欠な化学薬品が製造されており、世界的に高いシェアを有しております。倉庫棟ではこれらの製品の品質を確保しながら保管できるよう、きめ細やかな温湿度管理がなされております。

JA静岡厚生連 リハビリテーション中伊豆温泉病院

概要	
完成年月	2023年6月
施工地	静岡県伊豆市
建物用途	病院
延床面積	18,000.00㎡
階数	地上4階
工事範囲	空調設備工事

本物件は、開院から50年以上が経過し、施設の老朽化や耐震不足の問題を解決するために移転新築された施設であります。地域密着型病院として、地域住民や農家組合員の健康管理とリハビリテーションの拠点となることをコンセプトに建設され、治療を通じて機能回復、社会復帰、在宅復帰等を支援する病院となっております。同病院は院内に温泉施設があり、天然温泉を利用した温泉療法が取り入れられております。

港区立小中一貫教育校赤坂学園

概要	
完成年月	2023年8月
施工地	東京都港区
建物用途	学校
延床面積	17,833.05㎡
階数	地上6階、地下1階
工事範囲	空調・換気・自動制御設備工事

本物件は、隣接していた赤坂小学校と赤坂中学校を一体化し、小中学校の枠組みを超えた「小中一貫教育校」として開校するために、旧赤坂中学校の敷地に建設された新校舎であります。この「小中一貫教育校」においては、学年を第1学年から第9学年のまとまりで区分し、本校舎は第5学年以上の生徒に利用されます。学年の垣根を越えて交流を深める施設づくりがコンセプトのひとつとなっており、第4学年以下の生徒が利用する既存小学校校舎と行き来できる上空通路や交流ホールなどが備えられております。

テクノ菱和の技術の紹介

私たちテクノ菱和は「空気と水のテクノロジー」を基本理念として、お客様のニーズに応える最適な環境システムの提供を目指し、新しい技術の研究開発に取り組んでおります。今回はそのなかから、小規模物件向け中央監視システム「TEC BEAMS lite」についてご紹介いたします。

研究開発 TEC BEAMS lite（テックビームスライト）

当社では、建物内にある設備の運転状況を監視・制御するシステムの開発や運用に力を入れており、これらを通して設備の省力化、省エネルギー化、品質向上に取り組んでおります。この取組みのひとつとして2020年に小規模物件向けの中央監視システム「TEC BEAMS lite」を開発し、現在までにさまざまな施設で導入いただいております。

「TEC BEAMS lite」は中小規模の建物にも導入しやすいよう、設備の管理点数を500点以内に抑えることで省コスト化を実現したシステムであります。運用後も改修を加え、さらなる効率化を図っております。今回はこれらの改修についてご紹介いたします。

主な改修点は2点で、1点目は運転データ出力機能です。オプション機能として温度情報やエネルギー使用量等を一覧で出力できるように改修を加えました。2点目は警報発信機能です。設備の異常を検知した際、事前に登録したメールアドレスへ警報メールを自動発信できるようになりました。これらの改良により、お客様からは使い勝手が良くなったとのご意見をいただいております。

中央監視システムは設備を管理し、維持する上で非常に重要なシステムです。今後も運用拡大を目指し、さらなる研究開発と機能改善を進めてまいります。

テクノ菱和のCSR

私たちテクノ菱和は、すべての事業活動を通じてステークホルダーのみなさまに対して、価値を創出し信頼を獲得していくことで、社会全体とともに持続的に成長していくことを目指し、継続的なCSR活動に取り組んでおります。

環境マネジメント活動

当社は「テクノ菱和環境方針」に基づき、ISO14001を軸とした環境マネジメントシステムを構築しております。全事業所によるEMS統括事務局を中心に、ESGの視点を踏まえて特定した11のマテリアリティ（重要課題）の活動においても、SDGsに基づいた環境に関する目標の達成度合を評価しながら、マネジメント活動を推進しております。

気候変動対策への取組み

当社は環境負荷低減への取組みをマテリアリティのひとつと捉えており、自社の事業活動にかかる温室効果ガス排出量の管理を重要な施策として認識しております。排出量削減への第一歩として、温室効果ガス排出量の算定・把握を実施しており、直近4年間の排出量※1［Scope1排出量およびScope2排出量（マーケットベース）］は以下の表のとおりとなりますが、サプライチェーンにおける排出量（Scope3排出量）については、現在算定方法の検討を進めております。今後も継続的に排出量の算定・把握を行い、環境負荷低減への取組みの指標としてまいります。

今後も引き続き、事業に係る使用資源の削減のみならず、省エネ技術を用いた設計・施工を推進し、社会に貢献してまいります。

直近4年のScope1、2排出量

単位(t-CO_2)

	定義	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
Scope1※2	自社での燃料の使用や、工業プロセスによる直接的な排出	924	918	906	985
Scope2※3（マーケットベース）	自社が購入した電気・熱等のエネルギーの使用に伴う間接的な排出	1,197	1,227	1,104	1,184
合計		2,121	2,145	2,010	2,169

※1 テクノ菱和および関連子会社の排出量
※2 Scope1排出量算定基準：国内拠点、国内子会社については「地球温暖化対策の推進に関する法律施行令」に基づく「温室効果ガス算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧」の排出係数を用いて算定しています。海外子会社、海外駐在員事務所、海外工事現場については日本の排出係数を準用して算定しています。
※3 Scope2排出量（マーケットベース）算定基準：国内拠点、国内子会社については、「地球温暖化対策の推進に関する法律施行令」に基づく「温室効果ガス算定・報告・公表制度」における「電気事業者別排出係数（特定排出者の温室効果ガス排出量算定用）」を用いて算定しています。海外子会社、海外駐在員事務所、海外工事現場については、Institute for Global Environmental Strategies [List of Grid Emission Factors, version 11.1.] (2023)のCM(Combined Margin)を引用して算定しています。

受注高	売上高	経常利益	中間純利益
50,617百万円	31,671百万円	1,869百万円	1,236百万円
＜ 前年同期比 12.5%増 ＞	＜ 前年同期比 20.4%増 ＞	＜ 前年同期比 54.7%増 ＞	＜ 前年同期比 57.0%増 ＞

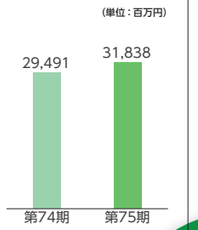
受 注 高 構 成 比

（総受注高に対する割合を示しています。）

産業設備工事

63.0%　31,838百万円

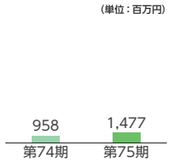
当中間期は、電子デバイスおよび化学品・工業薬品関係の大型工事を受注できたことなどから、前年同期を上回る受注高となりました。今後も当社の得意とする産業設備工事を中心にバランスのとれた受注を推進するとともに、ライフサイクル一貫ソリューションビジネスを実践し、お客様との関係強化に努めてまいります。

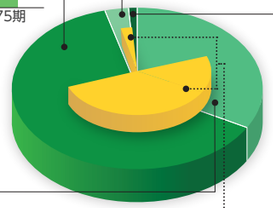


電気設備工事

2.9%　1,477百万円

連結子会社の松浦電機システム株式会社が、発電設備、太陽光発電やLED照明などの省エネルギー技術の提案・施工・メンテナンスを実施しております。





冷熱機器販売

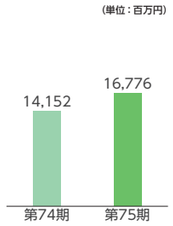
1.0%　525百万円

設備工事に関する空調機器等の販売を行っております。

一般ビル設備工事

33.1%　16,776百万円

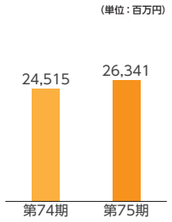
当中間期は、官公庁の大型新築工事を受注したことなどから受注が堅調に推移し、前年同期を上回る受注を確保できました。今後も継続的な設備の更新需要を取り込むとともに、学校や病院をはじめとするインフラ需要にも対応し、受注拡大に努めてまいります。



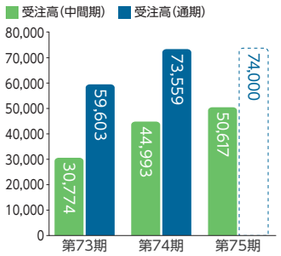
設備改善工事

52.0%　26,341百万円

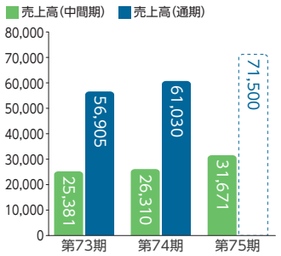
施設のロングライフ化に貢献するメンテナンス工事と経年劣化した設備の機能回復や、より効率的なシステムへの見直しを図るリニューアル工事を中心とした事業分野です。



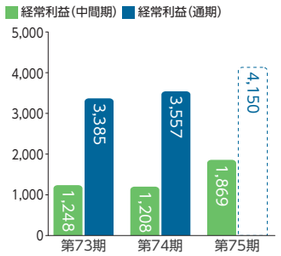
受注高の推移



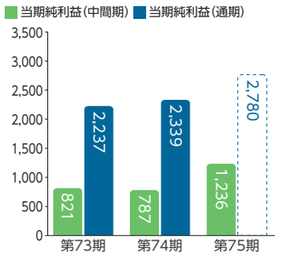
売上高の推移



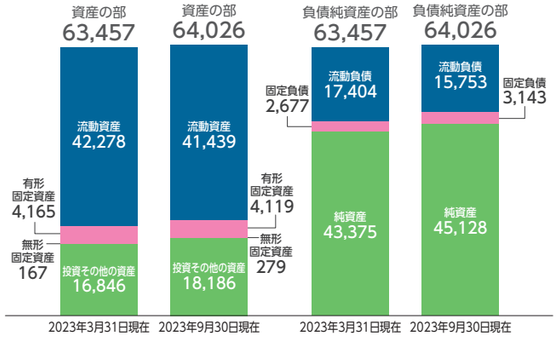
経常利益の推移



当期純利益の推移



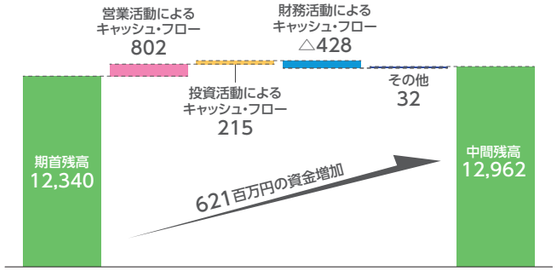
貸借対照表の概要



キャッシュ・フローのポイント

（単位：百万円）

第75期（2023年4月1日～2023年9月30日）



財務のポイント

資産の部

流動資産における現金及び預金の増加4億円、電子記録債権の減少9億円、受取手形・完成工事未収入金等の減少5億円、固定資産における投資有価証券の増加13億円、退職給付に係る資産の増加1億円を主な変動要因として、前期末と比較して5億円増加し、640億円となりました。

負債の部

流動負債における未成工事受入金の増加9億円、電子記録債務の増加6億円、支払手形・工事未払金等の減少22億円、固定負債における繰延税金負債の増加3億円を主な変動要因として、前期末と比較して11億円減少し、188億円となりました。

純資産の部

その他有価証券評価差額金の増加10億円、利益剰余金の増加8億円を主な変動要因として、前期末と比較して17億円増加し、451億円となりました。自己資本比率は前期末と比較して2.1ポイント上昇して70.5%となりました。

キャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益の計上による資金増加18億円、売上債権の減少による資金増加15億円、仕入債務の減少による資金減少15億円を主な変動要因として、現金及び現金同等物は前期末と比較して6億円増加し、129億円となりました。

詳しい情報はウェブサイトへ

テクノ菱和　検索

会社概要 （2023年9月30日現在）

商号	株式会社テクノ菱和 （英文表記 TECHNO RYOWA LTD.）
設立	1949年12月23日
資本金	2,746,800,000円
上場	東京証券取引所スタンダード市場
従業員	790名（連結917名）
本社	東京都豊島区南大塚2丁目26番20号
登記上の所在地	東京都港区芝大門2丁目12番8号
事業内容	当社グループは、産業用空調、冷暖房、給排水、衛生、電気設備等の設計・施工管理といった設備工事業ならびにそれらに付帯する業務を行っております。お客様のビジョンの実現に向けた計画提案、設計、施工、設備診断、アフターメンテナンスといったワンストップサービスを通じて、お客様を総合的にサポートしてまいります。

■産業設備関連事業　■太陽光発電事業
■一般ビル設備関連事業　■不動産賃貸事業
■電気設備工事業　■保険代理業
■冷熱機器販売事業

主な事業所

技術開発研究所（神奈川県横浜市）
東京本店（東京都豊島区）
東関東支店（茨城県土浦市）
北関東支店（埼玉県さいたま市）
東北支店（宮城県仙台市）
横浜支店（神奈川県横浜市）
名古屋支店（愛知県名古屋市）
静岡支店（静岡県静岡市）
大阪支店（大阪府大阪市）
中国支店（岡山県倉敷市）
九州支店（福岡県福岡市）
海外事業部（東京都豊島区）

役員 （2023年9月30日現在）

取締役

代表取締役	黒田英彦
取締役	加藤雅也
取締役	大石勉
取締役	袴田一博
取締役（社外）	武田公温
取締役常勤監査等委員	常木茂
取締役監査等委員（社外）	小坂井千春
取締役監査等委員（社外）	飯高弘史郎

執行役員

社長執行役員	黒田英彦
専務執行役員	加藤雅也
常務執行役員	大石勉
常務執行役員	袴田一博
上席執行役員	黒田長憲
上席執行役員	窪和敏
上席執行役員	福士富三
上席執行役員	鈴木俊夫
上席執行役員	齋藤吉信
執行役員	堀下浩
執行役員	武石義人
執行役員	武田和夫
執行役員	水野則康
執行役員	大塚弘之
執行役員	菊池智克
執行役員	門司泰宏
執行役員	森茂樹

企業集団の状況 ※連結子会社

東京ダイヤエアコン株式会社※
所在地　東京都新宿区
主要な事業の内容　空調衛生設備工事業

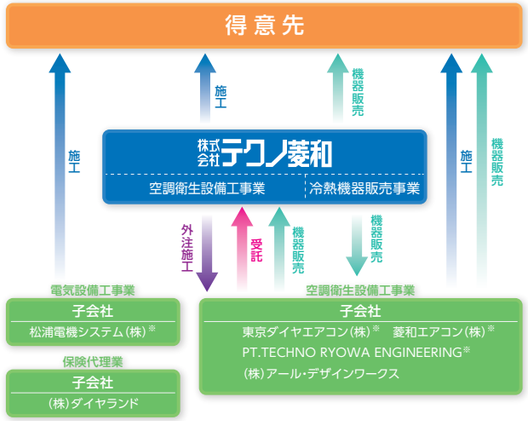
PT.TECHNO RYOWA ENGINEERING※
所在地　インドネシア共和国
主要な事業の内容　空調衛生設備工事業

菱和エアコン株式会社※
所在地　愛知県名古屋市
主要な事業の内容　空調衛生設備工事業

株式会社アール・デザインワークス
所在地　大阪府大阪市
主要な事業の内容　空調衛生設備工事業

松浦電機システム株式会社※
所在地　大阪府守口市
主要な事業の内容　電気設備工事業

株式会社ダイヤランド
所在地　東京都港区
主要な事業の内容　保険代理業



株主優待制度のお知らせ

当社株式を決算期末日に100株以上ご所有の株主様に静岡の新茶をプレゼントいたします。

ご優待品「特選茶」

ご優待内容

ご所有株式数1,000株以上	静岡の新茶2パック贈呈
ご所有株式数100株以上1,000株未満	静岡の新茶1パック贈呈

株式の状況 （2023年9月30日現在）

発行済株式の総数	22,888,604株
株主数	6,847名

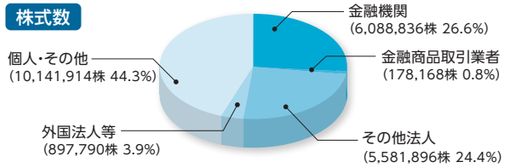
大株主 （2023年9月30日現在）

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
テクノ菱和取引先持株会	2,269	10.4
三菱重工サーマルシステムズ株式会社	1,424	6.5
株式会社三菱UFJ銀行	1,071	4.9
株式会社みずほ銀行	1,071	4.9
東京海上日動火災保険株式会社	816	3.7
テクノ菱和従業員持株会	756	3.4
株式会社名古屋銀行	738	3.3
明治安田生命保険相互会社	734	3.3
株式会社京葉銀行	723	3.3
近重　次郎	672	3.0

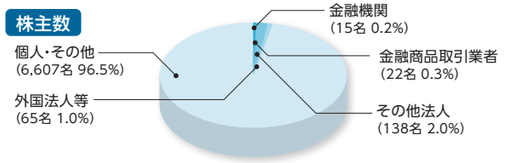
※ 当社は、自己株式1,151,658株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式の分布状況 （2023年9月30日現在）

株式数



株主数



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会　3月31日 期末配当金　3月31日 中間配当金　9月30日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1−1　電話 0120-232-711（通話料無料） 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
単元株式数	100株
公告掲載URL	https://www.techno-ryowa.co.jp/ （ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。）
諸手続きお問い合わせ先	【住所変更、買取請求その他各種お手続きについて】 ●証券会社をご利用の株主様 お取引の証券会社等にお問い合わせください。 ●特別口座に記録された株式をご所有の株主様 特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。 【株主総会資料に関する書面交付請求について】 株主総会資料は電子提供措置をとっておりますので、書面での送付をご希望の場合は、三菱UFJ信託銀行またはお取引の証券会社等を通じて、「書面交付請求」のお手続きを行ってください。 【未受領の配当金について】 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式に関するマイナンバー制度のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きの際に必要となります。なお、株式に関するマイナンバーの詳細につきましては、口座を開設されている証券会社等へお問い合わせください。

特別口座をご使用の株主様へ　お早めに株式をお振替えください

特別口座に記録されている株式は、証券市場での売買を行うことができません（単元未満株式は除く）。また、特別口座で管理されている株式は相続や贈与時のお手続きが煩雑になってしまいます。
ご所有の株式が特別口座に記録されている場合は、証券会社等に一般口座を開設し、特別口座から株式をお早めにお振替えください。
詳しいお手続きにつきましては三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。

お手続き	三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部
お問い合わせ先	〒137-8081　新東京郵便局私書箱第29号　TEL:0120-232-711（通話料無料）

株式会社テクノ菱和
https://www.techno-ryowa.co.jp/
〒170-0005 東京都豊島区南大塚2丁目26番20号
お問い合わせ TEL：03-5978-2541

VEGETABLE OIL INK
環境に優しい植物油インキを使用して印刷しています。
UD FONT
FSC www.fsc.org
ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC® C022915